

# 令和5年度 託麻南小 研究部諸計画

## 1 校内研修計画

### (1) 基本方針

- 本校教育目標の具現化を目指す。
- 子どもを中心に据えた教育活動を目指す。
- 教職員としての資質向上を目指す。
- 教職員一人一人の創意を生かし、共通理解を図りながら、授業づくりの研究を中心に、現職研修に努める。

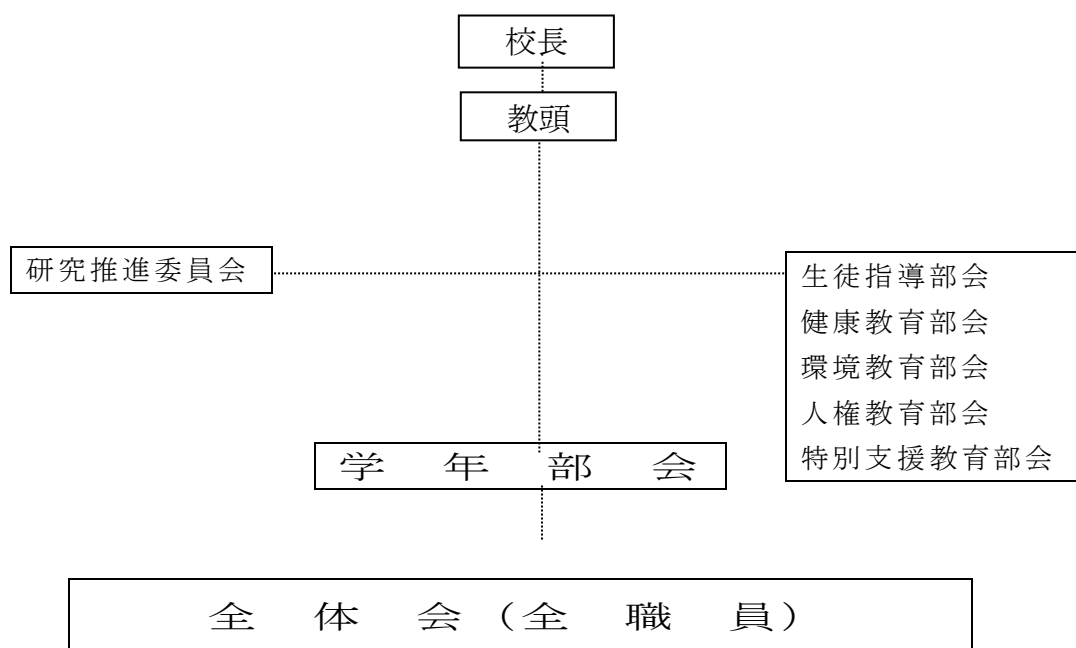
### (2) 内 容

- テーマに沿った校内研究の推進
- 人権教育の充実
- 道徳教育の推進
- 各教科等経営の充実
- 現職研修の推進及び充実

### (3) 組織と役割

- 研究推進委員会・・・研修全般についての計画・立案・提案・推進  
校内研究運営・研究のまとめの作成
- 学年部会・・・実践と評価、研究授業（大研・中研）の参観、授業研究会の運営
- 全体会・・・・・・共通理解と共通実践を図り、資質向上のための研修の場  
研究授業・授業研究会、各種研修会・講話、各部会からの報告

### (4) 組織図



## 2 研究主題

### 楽しみながら たくましく学び合う 託麻南っ子 ～自己選択する場を生み出す託南授業プラン～

## 3 研究主題について

令和3年に発出された「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）では、目指すべき新しい時代の学校教育の姿として「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」が提言された。そこで本校では、今年度より「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けた研究に取り組んでいく。

主題の「楽しみ」とは、自分の思いや考えを基に、主体的に対象に関わったり、夢中になって活動に取り組んだりして、自ら学びを楽しもうとしている子どもの姿を表す。「たくましく学び合う」とは、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自己の学びを調整しながら粘り強く取り組むこと。「学び合う」とは、多様な他者とかがわり合いながら協働的に学ぶことを表す。

## 4 研究の仮説と視点

### (1) 目指す子ども像

活動を楽しみ、自己選択しながら自ら学習を進めることができる子ども  
自己の学びを調整しながら粘り強く学ぼうとする子ども

### (2) 研究の仮説

子どもが楽しみながら活動に取り組む中で、自己選択する場づくりの工夫をすることで、自己の学びを調整しながら粘り強く学ぼうとする子どもの姿が生まれるだろう。

### (3) 研究の視点

- 【視点①】 自ら学びに向かうための学習活動と自己選択する場づくりの工夫（楽しむ）
- 【視点②】 他者とのかがわり合いを生み出すための場の設定の工夫（つながり合う）
- 【視点③】 自らの学びを自覚し、次の学びにつなげる振り返りの工夫（創り出す）

#### ① 主体的な学びの姿を生み出すための具体的な手立て

- 【手立て①】 その単元で「身に付ける力（資質・能力）」や「学習内容」が含まれる、子どもにとって面白い学習材や学習活動の設定
- 【手立て②】 学習材の選択、めあて（課題）の選択、解決策や方法の選択など、子ども一人一人が自分の思いや考えに基づいて学びに向かうための自己選択する場づくりの工夫

#### ② 対話的な学びの姿を生み出すための具体的な手立て

- 【手立て①】 一人一人の個の学びを基に全体の学びを促進する課題の設定
- 【手立て②】 一人一人の個の学びを共有し、必要に応じて自ら他者と関わることができる学習環境（掲示物や）の工夫

#### ③ 深い学びの姿を生み出すための具体的な手立て

- 【手立て①】 自分の思考を言語化し、言葉などによって表現する活動の設定
- 【手立て②】 自らの学びを自覚し、次の学びにつなげるための3つの視点（①自分がやったこと、②自分の考え、③新たな問いや次にしたいこと）による振り返りの工夫